

未来を耕す

多様化する

農学の役割



参加費
無料

どなたでも
参加できます

定員 300名 (当日先着順、事前登録不要)

※定員を超えた場合、入場をお断りすることがあります。

問合せ先 東京大学農学系総務課
総務チーム 総務・広報情報担当
〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1

ご希望の方には、受講証を発行いたします。発行を希望する場合は、
120円切手をご持参の上、セミナー当日に受付でお申し込みください。

電話 03-5841-5482 / 5484 / 8179

E-mail koho@ofc.a.u-tokyo.ac.jp

プログラム① 13:35～14:05 (30分)

農学研究者から農林業者へ～複雑な地域社会で生きる～

林 浩昭 (農林業・国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会長)

プログラム② 14:05～14:35 (30分)

農学は知識製造の原動力～異分野融合で地球を耕す～

丸 幸弘 (株式会社リバナス 代表取締役 グループCEO)

プログラム③ 14:35～15:05 (30分)

世界と繋がるライフサイエンス

遠藤-山神 撰 (富士フィルム株式会社 R&D統括本部
バイオサイエンス&エンジニアリング研究所 研究マネージャー)

プログラム④ 15:20～15:50 (30分)

持続可能な社会インフラを支える仕組み

高見 豊 (中央電力株式会社 取締役)

プログラム⑤ 15:50～16:20 (30分)

国際栄養問題とアフリカ農村地域での家計調査

白鳥 佐紀子 (国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター
研究戦略室 研究員)

プログラム⑥ 16:20～16:50 (30分)

食料・農業・農村政策の新たな展開方向

木村 崇之 (農林水産省 大臣官房政策課 上席企画官)

※講演者は大学院農学生命科学研究科・農学部出身です。



2020年6月20日(土)

13:30～16:55

東京大学弥生講堂・一条ホール

東京都文京区弥生1-1-1

◇地下鉄南北線「東大前」下車 徒歩1分 ◇地下鉄千代田線「根津」下車 徒歩7分